

あと数か月すれば、夏の風物詩セミのオーケストラがミンミン・シャーシャーと鳴り響く。日本代表のアブラゼミは、地下で約6年暮らし、地上での余命は、1か月しかない。(海外では13～17年地中で暮らすセミもいる)地上では鳴くのはオスで未婚率は何と37%だとか。

地中での敵はモグラ・アリそして大雨に病気。地上に出れば、鳥・クモ・暴風雨と、生存率も相当低い。生きるのに過酷な自然界である。

あーあ私はセミに生まれなくて良かったとつくづく思った。

パソコンの無料アプリに「余命診断」を見つけたのでやってみた。現在65歳私の余命は、あと13年。内訳は睡眠4年・食事風呂等で2年費やし、残りの約7年が自由時間の余命らしい。

ということは、アブラゼミの一生とほぼ変わらない時間しか残ってない。

唯一救われたのは、未婚でなく5歳と2歳の孫がいること。そして何より16年前に安城建築さんに建ててもらった安全快適な家に住んでいられる今があること。

築100年経過してもきっとこの家は生き続けるだろう。

社長さん始め、多くの職人さん達そして、我が家のオープンハウスが第1号のご縁で、今だに家族付き合いのある営業の澤さん(余談ですが、5年前大腸がん手術で入院したとき澤さんの奥さんから「ずっと主人が泣いてましたよ」と教えてくれました。)

それに比べ私の妻は、手術当日、見舞いに来た娘と一緒に「じゃあ帰るからね！」と言い残して帰ってしまいました。術後麻酔の意識低い隙に。

どちらが本当の家族か今も分かりません。

でも、セミのように敵ばかりでなく、素敵な人たちに家も 私も見守られている事に感謝感謝の毎日です。

幸田町 H様 より